

血漿の色調変化により Hb 偽高値を示した再生不良性貧血の一症例

◎三嶋 寿佳¹⁾、小林 悠希¹⁾、佐伯 仁志¹⁾、河合 健¹⁾
独立行政法人 国立病院機構 敦賀医療センター¹⁾

<はじめに>吸光度を測定する Hb 測定は、検体の性状により影響を受ける場合がある。今回、再生不良性貧血の治療としてエルトロンポパグ（以下、レボレード®）とシクロスポリン（以下、ネオーラル®）の併用服薬中に、血漿が暗褐色となる色調変化がみられ、Hb 偽高値を示した症例を経験したので報告する。

<症例>症例は、2018 年 11 月に特発性再生不良性貧血と診断され、同年 12 月よりネオーラル®の服薬を開始、2019 年 9 月よりネオーラル®に加えレボレード®の併用を開始した 81 歳女性。2021 年 8 月 4 日より、実測 Hb と実測 Ht から算出される MCHC が 37.0%を超える異常高値を示した。MCHC 異常高値の原因を精査検討する中で、血漿にみられた暗褐色の色調変化が Hb 測定に影響し偽高値を示している可能性が疑われた。そこで、血清 Hb 測定による Hb 補正を実施した。

<検討内容>検討対象は 2021 年 8 月 4 日～2021 年 9 月 27 日までに血液検査依頼があった本症例のすべての残血清（n=5）を用いた。多項目自動血球分析装置 XE-2100（シス

メックス社）で各血清の Hb を測定し、補正式で全血の実測 Hb から補正 Hb を算出した。

<結果および考察>実測 Hb は補正 Hb よりも 4.1～5.7%（中央値 4.9%）高値であったことから、実測 Hb が偽高値を示していたことが考えられた。Hb 偽高値の要因として考えられる高ビリルビン血症、乳び、白血球増加による濁りはどれも否定的であり、本症例の Hb 偽高値の原因はこれらの要因ではなく血漿の色調変化が原因であると考えられた。また、血漿の色調変化の原因としては、レボレード®の服薬により血漿が暗褐色化したという報告があることから、薬剤が原因として最も考えられた。本症例のようにレボレード®を用いて治療を行っている患者において、MCHC の異常高値が見られた場合、Hb が偽高値を示している可能性があるため、検体の性状を確認し Hb を補正することは有用であると考えられる。<結語>ネオーラル®とレボレード®を併用服薬している再生不良性貧血患者において、血漿の色調変化により Hb 偽高値を示した一症例を経験した。（連絡先：0770-25-1600 内線 258）